

地域公共交通計画の実質化に向けたアップデート (令和6年4月 地域公共交通計画の実質化に向けた検討会)

- 地域交通は、多くの地域で深刻な状況にあり、自治体、交通事業者はじめ地域の多様な関係者が連携・協働して地域交通の再構築（リ・デザイン）を進め、その利便性・生産性・持続可能性を高めていく必要がある。
- 各地の厳しい現状に対応しながら、自家用車に頼りすぎることなく、誰でも気兼ねなくおでかけできる社会の実現を目指し、**地域公共交通計画には、司令塔・実行機能やデータ活用の強化・拡張など「アップデート」が求められ**、本検討会においては、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画の実現に向け、その方向性や官民に期待される取組をとりまとめた。

地域公共交通計画のアップデート

～2027年までにトップランナー100を創出。現行計画が更新期を迎える2030年頃までに地方都市を中心※1に全自治体のアップデート※2を推奨～

連携・協働（共創）

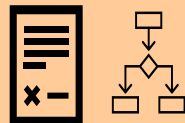
面的・統合的取組

機動的・継続的対応

先手先手の対応

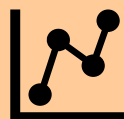
モデルアーキテクチャ（標準構造）に基づく計画

- シンプルで一貫性ある構成へ
2大目標：①公共交通軸の充実・保証、②移動制約者の足の確保と、10の中核KPI
- 適材適所の施策の集中展開
地域交通ネットワークを面的・統合的に、モードミックスの施策展開
- 具体的なPDCAスケジュール
年2～3回の評価や、施策の検討から実行までの目標日程を明示



モビリティ・データの利活用

- データも活用した計画策定・実行
現状診断、将来予測、コミュニケーション充実、マネジメントコスト削減
- 他分野データの活用
移動・施設の動向（福祉・医療・教育・商業等）や需要見込
- データ共有体制の確立
自治体、交通事業者等の間で共有の目的・範囲・条件等の明確化



連携・サポート

都道府県の役割

○ **地域間交通**（地域鉄道、幹線バス等）、市町村間調整

○ **市町村の牽引・伴走**・リ・デザイン

実証運行、新技術等を先導

・ **データ**
データ共有枠組の構築

・ **ヒト&プレイス**
人材育成、ネットワーキングの場の創出



機動的・横断的な実行体制

- 多様な関係者の実質的参画
多様な関係者の協議会参画、庁内連携体制の構築、市民・住民との共有共感

● 専門人材の確保・育成

- ① 交通の知見、② データ活用ノウハウ、③ コーディネートスキルを持つ人材・伴走者



※1 「地域の公共交通リ・デザイン実現会議」（座長：国土交通大臣）が提示する地域類型のうち、B（地方中心都市など）及びA（交通空白地など）の地域

※2 今後、国が提案するガイダンスに沿った取組または、より地域事情に適した取組

国による推進策（例）

ガイドランスの提供

モデルアーキテクチャ（標準構造）など
計画策定のガイドランスの策定

ポータルサイトの整備

ベンチマークの提供
協議会マネジメント支援

対話型支援

地域公共交通計画等を有識者等との対話によりレベルアップ

官民デジタル化

車両IoT化、国への申請等デジタル化、データ共有の枠組構築の推進

専門人材の確保・養成

有識者等データベース
専門人材養成プログラム

※「地域の公共交通リ・デザイン実現会議」における検討を踏まえ、関係省庁とともに先行的な取組を行う自治体を支援1

中間とりまとめ ポイント

○ 現行計画の改訂が一巡する**2030年頃までに、地方都市を中心に全自治体におけるアップデート**（新規策定含む）**を推奨**するとともに、2027年までに**先導するトップランナーの創出**（100計画）が期待される。また、取組を推進するため、市町村、都道府県、民間事業者の取組とそれを後押しする国の推進策の展開が期待される。

		短期				中長期
		2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2030年度 (令和12年度)
市町村	地域公共交通計画のアップデート	(期間を満了する計画 ※累計見込数)	(約150計画)	(約350計画)	(約550計画)	(約1200計画) ※地方都市を中心に全自治体におけるアップデートを推奨（更新・新規）
都道府県	市町村の補完 (ヒト&プレイス、データ、リ・デザイン)	トップランナーの創出			人材育成・ネットワーキングの場の創出 実証運行・新技術の導入の拡大 データ共有の枠組の拡大	市町村への支援充実
	ガイダンスの提供	ガイドラインの策定 モデルアーキテクチャ（標準構造）の策定 施策カタログの提供				
	ポータルサイトの整備	機能・要件等の検討	運用方法等の検討	システム構築・試験導入	ポータルサイトの実装	
	対話型支援	仕組みの構築 省内ワンチームの組成	対話型支援の試行・見直し		対話型支援の展開	
国	官民デジタル化	地域公共交通確保維持改善事業 道路運送法上の手続	ICカード情報の活用検証 乗降調査からICカード情報への転換	e-mlitによる申請等手続のオンライン化 デジタル・データによる申請の推進		官民情報のデジタル化
		民間事業者におけるデジタル化 データ共有の枠組	車両IoT化（キャッシュレス等を活用した乗降データのデジタル化）【国支援のあり方も検討】	データ共有のモデル提示 データ共有の枠組の作成支援 データ共有フォーマット等の標準化に対する支援	都道府県に対するデータ共有の枠組の構築支援	円滑なデータ活用環境の実現
	専門人材の養成・確保	専門人材養成プログラムの支援・展開【国が推奨する仕組みも検討】 有識者・伴走者データベース（全国版）の構築 制度・事例の横展開				地域における交通人材の充実

地域公共交通計画のモデルアーキテクチャ（標準構造）

住民・市民との双方向コミュニケーションを通じた「地域の将来像」の共有（例）計画が実現したとき、住民の暮らしや観光がどう変わるのか

- 豊かな地域社会の実現 人口減少の歯止め 移住・定住の促進 地域経済・産業の発展 地価の上昇 ウェルビーイングの実現 健康寿命の増進 カーボンニュートラル ※交通分野が貢献する目標群（クロスセクター目標）

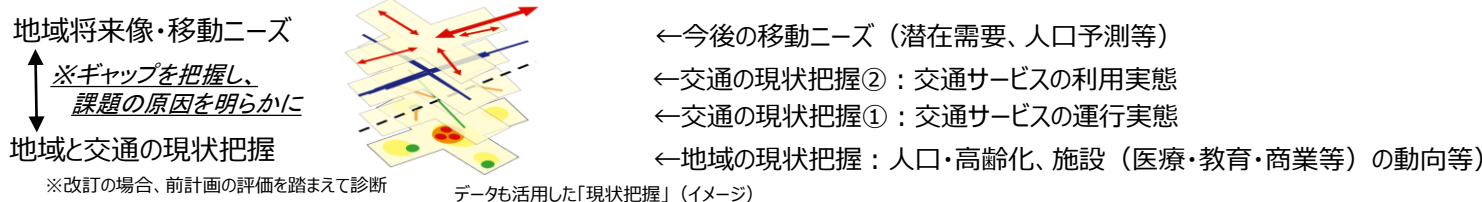
上位計画への位置づけ
(総合計画等)

まちづくり・観光の計画との連携・調和
(立地適正化計画、総合交通戦略、観光圏整備計画等)

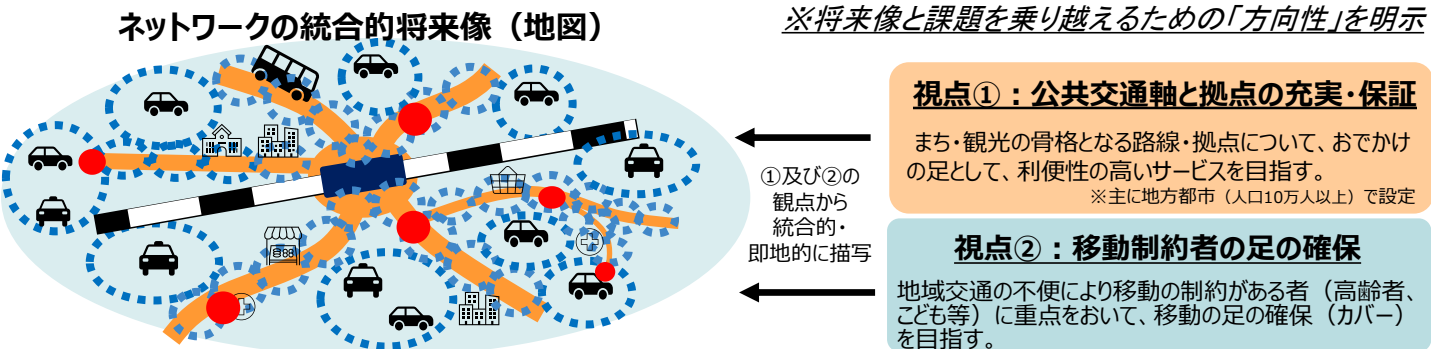
マスタープラン

基本的な方針

現状診断



中長期の目指す姿



計画目標・KPI

5年の計画目標・KPI

目標	評価スパン	アウトプット	アウトカム
①公共交通軸と拠点の充実・保証	短期	○各公共交通軸の運行頻度・回数	○各公共交通軸・拠点の利用者総数
	中長期	○公共交通分担率	
②移動制約者の足の確保	短期	○(一定時間内に)公共交通で通院・通学できる高齢者、子どもの割合	○高齢者、子どもの公共交通の利用回数
	中長期	○高齢者、子どもの1日平均の移動回数	
③持続可能性・実現可能性の確保	短期	○公共交通の収支・公的資金投入額	○公共交通の利用者総数 ○公共交通に従事する運転者数
	中長期	○住民等の公共交通に対する満足度・認知度	

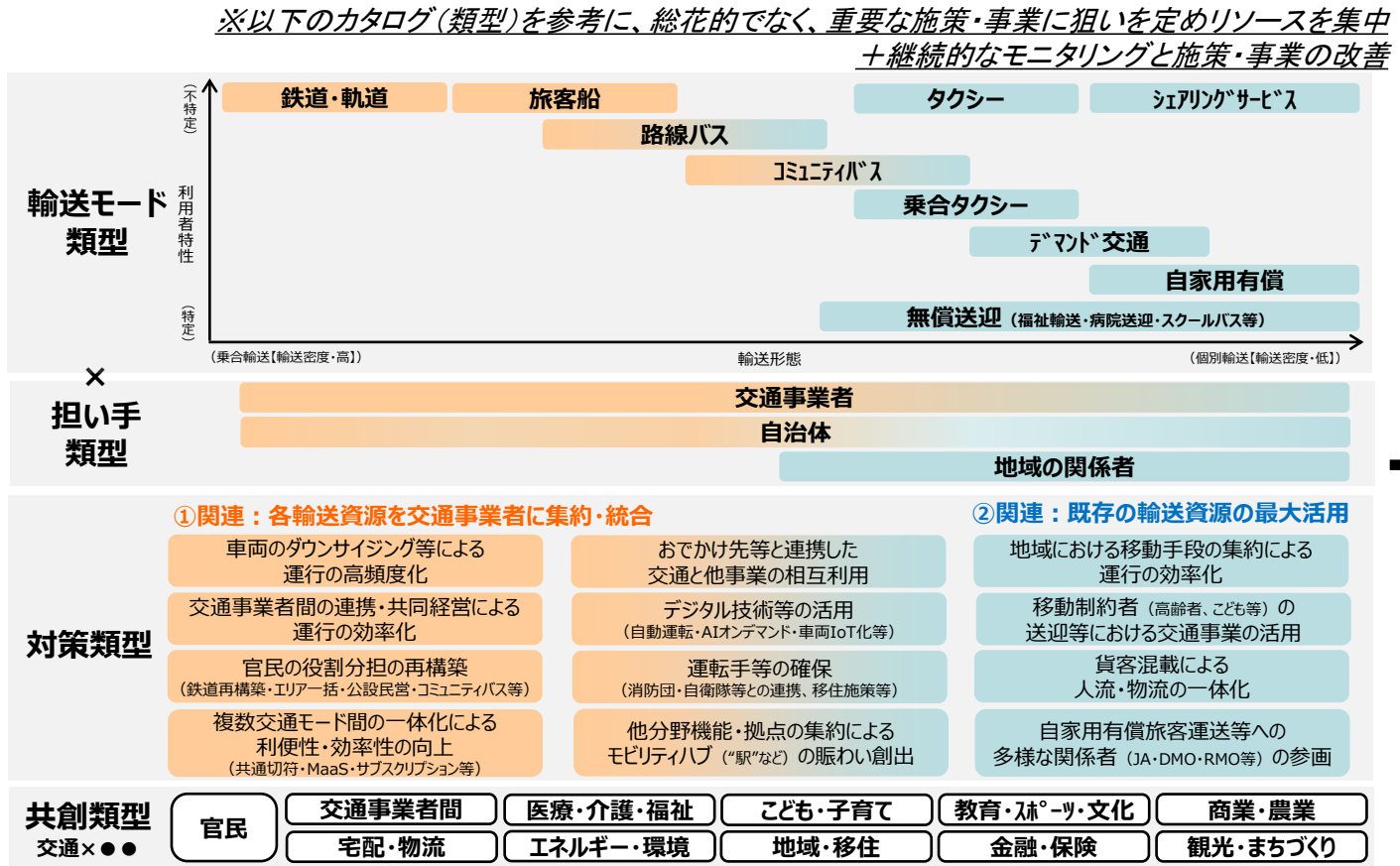
※移動制約者: 地域交通の不便により、移動の制約のある者(高齢者、子ども、障がい者等)を指す。高齢者、障がい者等については、バリアフリー計画等と連携・調和した取組が必要。
※上記KPIにより定量的に評価するほか、定量化が困難な内容についても、定性的に評価することが重要
※目標設定にあたっては、住民サービスの充実・最適化に向けて、供給の不足(運転手・車両等)や行政上のハードル(資金等)を乗り越える努力が必要。

地域の多様な課題に対する目標・KPI

アクションプラン

実行

適材・適所の施策・事業



評価

スケジュール

協議会	N年度(●)												N+1年度(★)						N+2年度(○)								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
地域公共交通計画																											
モニタリングチーム(データの定期的共有+検証・改善)	★																										
地域公共交通事業維持改訂作業																											

機動的・横断的な実行体制の整備

- モニタリングチームの組成(自治体・交通事業者+a)
- 多様な分野の関係者の実質的参画
- 専門人材等の確保・育成

モビリティデータの活用方針

- モビリティデータのデジタル化に向けた取組
- モビリティデータの共有体制・枠組の構築
- モビリティデータも活用した計画推進

※モデルアーキテクチャ(標準構造)は、全体の構造を示すもので項目を埋めていく性質のものではない。地域自ら考え・現場で行動し「白紙」を埋めていく作業も非常に重要。
例) 単なる現状把握でなく、課題の原因やその解決策を探る「考えるチカラ」/ 実行に向けた、関係者との「コミュニケーション・合意形成」(信頼・共創・熟議)等
※自治体の規模等に応じて、モデルアーキテクチャ(標準構造)から、構成要素を選択して活用されることも想定される。例) 過疎地域等において、目標②移動制約者の足の確保のみを設定等